

平成30年度 事業計画（重点目標）

1. 「創る！」

設立50周年を展望し「協会40年の歩み」の成果と課題を踏まえ、新しい歴史を刻んでいくスタートの年と捉え、スポーツ・レクリエーションの可能性を広げ・発展させ、次世代へと繋げる取り組みを行い、“みんなで創る協会”を目指す。

2. 「人生100年時代！」

健康長寿のまちづくり・人づくり事業の推進！

- ①これまで実施してきた「介護予防セミナー」、「福祉レクリエーションセミナー」の再検討を含め、健康長寿のまちづくり・人づくり事業や、寝たきり予防・介護予防・生活習慣病予防事業等の充実を図り、地域福祉の担い手として専門性の高い支援者の養成を行い、高齢者の「健康で楽しみと生きがいに充ちたライフスタイルづくり」、「健康長寿社会」の実現に寄与する。
- ②次世代を担う指導者・協力者の発掘及び新規事業の開拓を行うと共に、「人生100年時代」、福祉関係者にアピールする新たな人材育成講座と資格制度を創設し、高齢社会におけるレクリエーションの価値を高め、新たな需要を喚起する。

3. 「ビッグチャンス！」

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催というビッグチャンスを見逃さず、スポーツ・レクリエーションの一層の普及振興を図る。

- ①「人間の可能性に挑戦するスポーツの力」と「誰でもが主役になれるレクリエーションの力」の一層の普及・振興に努め、生涯スポーツ社会の実現に寄与する。
- ②多様な事業を開催し、県民のスポーツ・レクリエーションへの関心を高めると共に、障がい者スポーツ・レクリエーション事業の一層の普及振興に努め、福岡県のスポーツ人口拡大に貢献すると共に、「笑顔いっぱい・元気いっぱい・やさしさいっぱい」の人づくり・まちづくりを推進する。

4. 情報は組織の生命線！

日々進化するSNSを活用して情報を共有し、新鮮な情報をいち早く発信する。

協会並びに加盟団体・指導者の最新情報をソーシャルネットワーク（SNS）の活用による情報の共有を行い、レクリエーション協会の活動や取り組みをリアルタイムで多くの人に発信する。

5. 人は“人財！”組織のいのち

情報発信力や企画力を持った人財の発掘と活用。

既存指導者の一層の協力体制づくりと共に、新たな人財の発掘、魅力的企画の発見・開発に努め、組織の充実強化及び加盟団体の活動力アップを図る。

6. 財源無くして活動無し！

新たな財源の開拓と助成金活用による事業の活性化

- ①新たな財源確保に繋がる事業を開拓・開発すると共に、スポーツ振興くじ(toto)助成金及び子どもゆめ基金助成金を活用して事業を展開し、広くスポーツ・レクリエーションの価値を発信する。
- ②費用対効果を意識し、収益性の高い事業の新規事業開拓に努める。

1. 大会、講座、教室

(予算額：2,650千円)

◆新規事業

◆(1) 40周年記念事業「スポーツ・レクリエーションフェア」の開催 (予算額：700千円)

※スポーツ振興くじ(toto)助成事業 交付予定額：546,000円

実施期日 平成31年3月9日(土)～10日(日)

会場 筑紫野竜岩自然の家で開催。

従事人数 加盟団体及び公認指導者 300名

受益対象者 不特定の県民約3,000名

事業内容 子どもから高齢者まで、誰でも参加でき楽しめる多彩なスポーツ・レクリエーション事業を展開し、スポーツ・レクリエーションの普及・振興に寄与する。また、スポーツ・レクリエーションの魅力を伝えるセミナー及び加盟団体の組織の充実強化を図るためのセミナーを同時開催する。

◆(2) 40周年記念協賛事業の開催並びに支援 (予算額：300千円)

指導者、加盟団体の要請に基づく40周年記念事業並びに協賛事業の開催・支援を行う。

(3) 「スポーツフェスタ・ふくおか2017」の開催(受託事業) (予算額：300千円)

「ソフトダーツ交流大会」「ウォークラリー交流大会」を開催。幅広い県民にスポーツ・レクリエーションを気軽に楽しんでもらう機会を設け、生涯スポーツ社会の実現に寄与する。

◆(4) 第18回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭(受託事業) (予算額：200千円)

実施期日 平成30年11月23日(祝・金)糸島市で開催。 ※メイン会場：「伊都文化会館」

従事人数 種目団体、糸島・福岡地区レクリエーション協会会員を中心に100名

受益対象者 主として60歳以上の不特定の県民約10,000名

事業内容 スポーツ・文化活動を通じた高齢者の生きがい・仲間・健康づくりを支援する。

(5) ニューカレピック(課程認定校交流大会) (予算額：150千円)

実施期日 平成30年6月24日(日)福岡市城南体育館で開催。

従事人数 300名

受益対象者 周辺地域住民、県内の課程認定校(大学・短大・専門学校)生約1,000名

事業内容 次代を担う課程認定校生の交流と学校の専門性を生かした県民サービス事業を展開し、喜ばれるよろこび体験と共に、学生の企画力・指導力・運営力の向上に努める。

(6) スポーツ・レクリエーション教室 (予算額：200千円)

※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：91,000円

スポーツ・レクリエーション部会を中心に子どもから100歳以上の人までを対象とした健康・体力づくり事業や「チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会」などの各種審判員養成講習会及び大会などを開催すると共に、加盟団体事業を支援しスポーツ・レクリエーションの普及振興を図る。

(7) 障がい者スポーツ・レクリエーション事業の実施・活動支援 (予算額：500千円)

①平成30年6月23日(土)福岡市南体育館にて開催の「福岡市特別支援学校PTA連合会主催レクリエーション大会」に協力・支援。 ※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：240,000円

②平成30年10月27日(土)田川市総合体育館にて開催の「人にやさしい町“田川をつくる会”レクリエーション」に協力・支援。

◆③平成30年6月3日(日)「障がいのある子ども達とのコミュニケーション講座」を開催し、障がい者に支援をする人材の育成に努める。

※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：169,000円

④関係団体と連携・協力し障がい者を対象としたスポーツ・レクリエーションの普及振興に努め、障がいのある人もない人も共に楽しめ合える生涯スポーツ社会の実現に寄与する。

(8) 生涯スポーツに関する普及活動 (予算額：300千円)

NPO法人福岡市レクリエーション協会指定管理業務に伴う今宿野外活動センター・福岡市東・西体育館のスポーツ・レクリエーション事業の支援及び加盟団体の活動を支援すると共に、県及び市町村の関係団体と連携協力して多様なスポーツ・レクリエーション事業を開催し、県民のスポーツ・レクリエーションへの関心を高め、生涯スポーツ・レクリエーションの普及・振興に努める。

2. 指導者の養成・活動支援 (予算額：2,500千円)

(1) スポーツ・レクリエーション指導者育成事業 (予算額：550千円)

※スポーツ振興くじ(toto)助成事業 交付予定額：435,000円

スポーツ庁の掲げる「2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功と健康長寿社会づくり」の目標に基づき、多様なスポーツ・レクリエーションの普及を図るため、担い手となる人材育成に努めると共に、公認指導者・公認指導員のレベルアップに努める。

また、助成金活用による事業の充実を図ると共に、新たな人材の発掘に繋がる魅力的な企画の発見・開発に努める。

(2) レクリエーション・インストラクターの養成 (予算額：50千円)

新カリキュラム導入に伴う養成を推進すると共に市町村レクリエーション協会が開催するレクリエーション・インストラクター養成講習会を支援し、市町村レクリエーション協会との連携を図りながら養成を行う。また、公認指導員のレクリエーション・インストラクター資格取得希望者を対象とした講習会の実施を検討する。

(3) レクリエーション・インストラクター資格証交付式の開催 (予算額：50千円)

実施期日 平成30年5月27日(日)

会場 パピヨン24・14会議室

受益対象者 新たに誕生したレクリエーション・インストラクター 18名

事業内容 人材育成部会企画・運営による資格証交付式、優秀レポート発表会、研修会等

(4) 地域レクリエーションボランティア育成事業（受託事業） **（予算額：600千円）**

市町村や社会福祉協議会、県立高等技術専門学校等からの委託を受け、地域福祉の向上に寄与するレクリエーションボランティアの養成を行い、レクリエーション指導力・支援力のアップを図る。

(5) 県レクリエーション協会公認指導員養成・資格証交付式 **（予算額：50千円）**

福祉サロンボランティア等の育成に努め、所定の講習プログラムを履修した受講者に、県レクリエーション協会公認指導員資格を付与し、地域活動の励みにすると共に、高齢者の健康づくり・体力づくり・仲間づくりに貢献する。県内10地区で開催予定。 目標：公認指導員 200名

(6) その他の人材育成事業（受託事業） **（予算額：800千円）**

私設病院協会看護学校より「新入生研修会」、日本レクリエーション協会より「教員免許状更新講習会」ほか受託。レクリエーションの理論・実技をはじめ豊かなライフスタイルづくり、生きがいつくり、社会参加、ボランティア活動、健康づくり、青少年の育成、コミュニケーションワーク&ホスピタリティトレーニング等人材育成を支援する。

(7) レクリエーション・ハンドブック「楽しいをつくる」の販売促進 **（予算額：100千円）**

レクリエーション・ハンドブック「楽しいをつくる」の販売促進に努め収益の増加を図ると共に、公認指導員のレベルアップを図る。

(8) 資格審査・登録・更新事務事業 **（予算額：300千円）**

審査委員会を開催し、レクリエーション・インストラクター、県レクリエーション協会公認指導員ほか各種公認指導者・審判員の資格審査を行う。また、登録・更新に関する事務を行う。
年間申請・更新予定者：500名。

3. 保健、福祉に関する支援者の養成と活動支援 **（予算額：2,100千円）**

(1) 健康長寿のまちづくり・人づくり事業 **（予算額：400千円）**

① 健康長寿のまちづくり・人づくり事業 **（予算額：200千円）**

福岡市で開催される「健康21世紀福岡大会」に参画し、「平均寿命＝健康寿命」をめざした健康・体力づくり支援事業を行うと共に、県公認指導員を活用し、体力アップ、生活習慣病予防、健康寿命延伸に貢献する指導者の育成および養成に努める。

また、市町村健康・体力づくり事業の受託、指導者の派遣等を実施する。

◆② みんなで創る「健康長寿クラブ100才委員会（仮称）」発足事業 **（予算額：200千円）**

「百寿まで元気に生きる！」を目標に掲げ、介護予防・認知症予防にとどまらず、健康長寿で質の高い高齢者のライフスタイルづくりに貢献するため、**新たな資格制度の調査・検討を進める。**

このための事業の企画・立案を参画者と一緒に行う「みんなで創るクラブ」を創設し、健康長寿のまちづくり・人づくり事業、寝たきり予防・介護予防・生活習慣病予防事業等の充実を図ると共に、新規事業の開拓に努め、専門性の高い支援者の育成・養成を行い、「健康と楽しみと生きがいに充ちたライフスタイルづくり」、「健康長寿社会」の実現に寄与する。

(2) 福祉レクリエーション支援事業 (予算額：1,000千円)

福祉レクリエーション関係者の支援力向上を図り、高齢QOL向上に貢献するため、健康長寿福祉部会を中心として、加盟団体、指導者等の活動を支援する。

① 福祉レクリエーションセミナー (予算額：800千円)

実施期日 平成31年2月2日(土)～2月3日(日)

会場 アクシオン福岡

受益対象者 不特定の県民約100名

事業内容 認知症予防や健康寿命延伸に貢献すると共に、支え支えられる社会の形成に貢献する人材の育成を行う。また、福祉現場で活用される多彩なレクリエーション財の提供を行い、福祉レクリエーションの担い手を育成する。

② 加盟団体活動支援事業 (予算額：200千円)

加盟団体が実施する福祉レクリエーション人材育成事業等を支援する。

(3) 介護予防事業(受託事業) (予算額：700千円)

(公財)日本レクリエーション協会受託事業「元気クラブづくり」を筑紫野市、大木町で平成29年度よりの継続事業として行う他、市町村等からの委託を受け年間を通じて実施。高齢者の介護予防・QOL向上に貢献するとともに介護予防ボランティアの育成を行う。

4. 子どもの健全育成に関する事業の開催及び支援 (予算額：700千円)

(1) 子どもの遊び場・居場所づくり事業 (予算額：200千円)

※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：184,000円

「みんなあつまれ！あそびの日」を日本レクリエーション協会主催「あそびの日キャンペーン」の参画事業として、平成29年4月14日(土)～7月31日(火)の期間、県内各地30ヶ所で実施し、身近な場所での遊び場・居場所づくりを推進すると共に、子どもから高齢者を対象としたニュースポーツ、伝承遊び、音楽遊び、読み聞かせ、野外活動等を実施し、スポーツ・レクリエーションを通しての多世代交流を目的とした事業を開催する。

(2) 「こどもあそびフェスタ・ふくおか」 (予算額：350千円)

※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：284,000円

実施期日 平成30年11月18日(日)

会場 筑後広域公園

受益対象者 主として子ども、家族を中心に不特定の県民5,000名

事業内容 「スポーツの総合祭典第5回市町村対抗福岡駅伝」に協賛し開催。筑後地区レクリエーション協会及び種目団体の協力を得て、「スポーツ・レクリエーション広場」と「ウォークラリー交流大会」を同時開催し、子ども、仲間、家族との参加を呼びかけ、世代間交流を促すと共に青少年の健全育成に寄与する。

(3) 子どもの遊び支援者養成、体力づくり推進事業

(予算額：150千円)

※子どもゆめ基金助成事業 交付予定額：111,000円

「子どもも大人もみんなでチャレンジ・ザ・ゲーム大会」や「子どものあそび支援者講習会」等の開催及び指導者の派遣を行い、子どもの体力づくり・仲間づくりを推進すると共に、担い手となる人材の育成及び新たな人財の発掘に努め、青少年の健全育成に寄与する。

5. 組織の育成強化・活動支援

(予算額：1,500千円)

◆(1) 設立40周年記念事業の開催

◆新規事業 (予算額：1,000千円)

設立40周年記念式典を開催すると共に、永年にわたってスポーツ・レクリエーションの普及・振興に貢献された団体及び指導者の功労表彰等を行う。

(2) 加盟団体、有資格者の活動支援

(予算額：200千円)

年間を通じて加盟団体、レクリエーション有資格者の活動支援を行い、県民に対して多様なスポーツ・レクリエーション活動を展開する加盟団体主催事業を支援し指導力、運営力、組織力の向上に努める。

(3) 組織の育成・強化事業

(予算額：300千円)

常務理事会、専門部会会議、加盟団体会議、課程認定校会議等を開催し、加盟団体との連携強化及び既存の指導者の一層の協力体制づくりの推進を図る。また組織強化セミナーの開催など組織力の充実強化に努める。

①常務理事会

※事業の企画・運営機関として開催。また組織強化や事務局運営体制等について協議する。

②加盟団体代表者会議

※常務理事会及び理事会、事務局より運営についての報告、また各団体の抱える課題についての協議を目的として、年2回開催する。

※随時、地区ごとの市町村レクリエーション協会及び種目・領域別加盟団体会議を開催する。

③課程認定校会議

※課程認定校生の抱える課題解決や養成等に関する協議や市町村レクリエーション協会、種目・領域団体との交流の促進を図る事業の協議を行う事を目的として開催する。

※課程認定校担当教員と密に連携し、レクリエーション・インストラクターの養成及び資格取得生に対して適宜フォローを行い、申請者の増加及び更新率のアップを図る。

④人材育成部会

※市町村レクリエーション協会との連携を図り、人材育成に関する市町村レクリエーション協会代表者会議を開催する。

※レクリエーション・インストラクター資格証交付式の開催。有資格者のレベルアップと活用及び組織力強化セミナー等の企画・運営、組織及び人材育成強化事業の検討を行う。

※新カリキュラム導入に伴う養成講座の支援を行うと共に市町村レクリエーション協会との連携したレクリエーション・インストラクターの養成に努める。

⑤健康長寿福祉部会

- ※新たに「みんなで創るクラブ」を発足させ、事業の見直し、時代の流れに即応した新たな事業を開拓すると共に、既存事業のレベルアップに努め、次世代を担う部会員の発掘・育成に努める。
- ※加盟団体との連携強化および意欲のある指導者を公募し、組織の充実を図ると共に、県民の健康づくり、福祉の向上を図るため、健康長寿のまちづくりに貢献するための協議を行う。

⑥広報部会

- ※新たな市場の開拓及び人材確保に繋がる広報PR事業の企画・運営及び更新率アップに繋がる情報提供事業の充実を努めることを目的として、広報部会を開催する。
- ※新鮮な情報をいち早く発信する取り組みとしてのSNSの活用などについて協議・検討を行う。
- ※広報力アップセミナーを開催し、加盟団体の組織強化の推進と共に、スポーツ・レクリエーションの普及・啓発の充実を図る。

⑦スポーツ・レクリエーション部会

- ※スポーツ・レクリエーションの普及・啓発及び人材育成事業の企画・運営を協議する目的として、スポーツ・レクリエーション部会を開催する。
 - ※障がい者スポーツ・レクリエーション事業の一層の普及・振興及びスポーツ人口拡大等を推進するための協議・検討を行う。
 - ※種目・領域団体代表者会議の開催及び事業を通して連携を図ると共に、抱える課題解決の対策を協議し合い、各団体の運営・組織力の強化及び新たな人材発掘に努める。
 - ※加盟団体及び会員の交流会を開催し、加盟団体間の交流を深め、連携強化を図る。
- ⑧年間を通じて、スポーツ振興（toto）くじ助成及び子ども夢基金助成を活用し、加盟団体の事業支援を行い、組織力の強化に努める。

6. 調査・研究事業

（予算額：500千円）

組織運営力の充実・強化のため、第72回全国レクリエーション大会・高知大会や第31回全国健康福祉祭（ねんりんピック）富山2018の視察、先進地の組織運営、事業内容等調査研究を行う。また、「健康長寿まちづくり・人づくり事業」を開催するにあたっての調査研究を行う。

7. 普及奨励、広報啓発、情報提供

（予算額：3,600千円）

（1）機関誌「県レクニュース」の発行

（予算額：3,000千円）

※スポーツ振興くじ（toto）助成事業 交付予定額：2,363,000円

実施期日 機関誌「県レクニュース」を、年6回、90号～95号発行。

平成30年5月10日「90号」、6月10日「91号」、9月10日「92号」、
11月10日「93号」、1月10日「94号」、平成31年3月10日「95号」
各3,200部発行予定。

受益対象者 正会員、公認指導者・指導員、県民、行政、各種機関・団体、報道関係他延べ20千名
事業内容 レクリエーション協会事業への関心を高め事業への参加を促し、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図ると共に、県民の健康で豊かな生活づくりに寄与する。

(2) 広報力の強化事業

(予算額：50千円)

「広報力」のアップを図るためのセミナーの開催および加盟団体の広報力強化に繋がる情報提供を行い、各団体の組織力アップを図り、組織の活性化に貢献する。

(3) スポーツ・レクリエーション用具・器具の紹介、斡旋

(予算額：500千円)

スポーツ・レクリエーション用具販売収益増を図るため、ニュースポーツや各種レクリエーション用具・教材を県内市町村スポーツ・生涯学習担当者や社会福祉協議会、老人クラブ、学校などにパンフレットを送付し紹介すると共に、求めに応じて斡旋する。

(4) 広報・啓発、相談・情報提供事業

(予算額：50千円)

様々な情報ツールや他団体の広報媒体を活用するなど、新規市場の開拓に結びつく広報事業を検討していくと共に協会紹介リーフレットおよび資格制度と指導者の活動紹介等チラシを活用して、レクリエーション協会事業および資格取得後のフォローおよび人材育成事業の広報PRの強化を図る。

ホームページによる情報発信、電話、インターネット等による情報提供、相談に随時対応。テレビ、新聞等マスコミュニケーションへの情報提供、フェイスブック、メーリングリストを活用し新鮮な情報発信を行い、生涯スポーツ・レクリエーションの普及・啓発に努める。

また、ソーシャルネットワーク（SNS）の活用による情報の共有を行い、協会並びに加盟団体・指導者の活動や取り組みの最新情報を発信することにより、より一層の広報・啓発に努める。

8. レクリエーション・カルチャー事業

(予算額：100千円)

「レクリエーション・カルチャー講座」の開催および生活を豊かにする文化的なレクリエーション事業の情報提供を行い、その魅力に学び、豊かなライフスタイルづくりに貢献する。